

松禪寺報

<http://syozen.com>

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第46号

発行日 平成23年9月25日

歩くという事

健康のため、そして、自己開発の修行として

会議や研修などで一泊したときなどは、できる限り朝の散歩に出るように心がけています。昨夜の酒が残っていても、朝の凜とした空気に触れると、次第に気持ちもリフレッシュします。それにしても、京都市内でも実に多くの人が、朝の運動を楽しんでいます。

私が歩くことを心がけた理由は、健康診断でメタボ予備軍と言われたからです。血圧も



高く、腹回りも立派に成長し、このまま放っておけば立派なメタボ正規軍に昇進するとのこと、これはいかんと歩き始めたわけでは

なく、腹回りも立派に成長し、このまま放っておけば立派なメタボ正規軍に昇進するとのこと、これはいかんと歩き始めたわけでは

も山間の村ではこれも苦痛になります。若い時は飲食が過ぎて十分代謝していたわけですが、50歳の半になると溜まる一方のようです。

このように、健康のために歩き始める人が多いようですが、禅の修行にも歩くというものがあ

ります。その一つが「経行きんぎん」です。一日中坐禅に没頭する時がありますが、このような時に禅堂のまわりを巡回する

けではありません。

さらに、弘法大師の足跡を慕う「四国遍路」も歩く修行です。自己をみつめ、自分自身の内にある仏を呼び起こす、まさに自己開発の修行です。

ともあれ、寸は短くとも歩くことができる足があることは、有り難いことです。人生を歩む、それは心とからだがい養うもので

す。臨済宗中興の祖といわれる白隠はくいん禅師は、厳しい修行をやりすぎて極度の神経衰弱と肺を患いますが、この時に京都の白川に住む白幽はくゆう仙人を訪ねて「内観ないくわんの法」を授かり、健康を回復したといわれます。その一つに「名人たちは足のかかとで息をし、凡人は喉で息をする」というのがあります。人間には心気という心の状態や気分を掌る気というものがある、凡人はこの心気を胸より上にのぼらせているので、心気をへその下、臍せいかたんでん下丹田におさめよというものです。

歩くという事は呼吸法が大切です。イライラせず気を静めて、秋の好時節を共に歩みましょう。



▲住職より管長様からの寿詞と輪袈裟を伝達しました

秋晴れに恵まれ彼岸法要を執行

本山からの米寿お祝いも伝達しました

秋彼岸の中日会を9月23日(秋分の日)、松禪寺で執り行いました。例年の通り朝8時30分から当番さんによる食事作りが行われ、秋の恵み、自然の恵みをたくさん詰め込んだ、おいしいお弁当に仕上がりました。

約30人の皆さんのお参りがあり、午前11時過ぎから本堂で皆さんと一緒に彼岸法要を執り行いま

した。法要後、少しだけお話しをさせていただきましたが、今月お願いする本山花園会見舞金のお願いや、本年11月に実施する本山団体参拝のお知らせもいたしました。

法要後は、当番さん手作りのお弁当をいただき、実りの秋と、今ある命に感謝しながらその味覚を皆さんと一緒に楽しみました。

妙心寺派花園会本部より
米寿のお祝い

今年も妙心寺派花園会本部に申請をして、米寿(大正13年生まれ)を迎えられた檀信徒の皆さん3名(山下孝さん、渡辺政男さん、藤田吉野さん)の方々に、お祝いの表彰状と輪袈裟をいただきました。秋彼岸法要の後、出席された渡辺政男さんには住職より伝

達し、お参りの皆さん全員でお祝いの拍手を送りました。

お家に長寿の方々が居られるのは家庭和楽のもとであり、一家繁

栄の瑞兆とお祝い申しあげる次第です。ますますのご長寿を保たれるようお願いしてやみません。おめでとうございます。

第5回四国八十八ヶ所霊場巡拝のご案内

第52番から71番まで 11月28日〜30日

第5回四国八十八ヶ所霊場巡拝を次のとおり実施いたします。お一人での巡拝がなかなか困難な霊場巡拝を、住職と一緒に旅する計画です。どうか、この機を有縁と

る鈍川温泉郷の中で、唯一自家源泉を持つ旅館です。巡拝の疲れを癒すのに最適の温泉郷です。

してご一緒に巡拝して頂けましたら幸いです。5回目からの参加も大歓迎ですので、ぜひお誘い合わせの上ご参加ください。
日時 平成23年11月28日(月)〜30日(水) 2泊3日
巡拝先 52番〜71番(20ヶ寺)
参加費 5万9千円(納経物、納経料は含みません)
申込締切 平成23年10月31日まで
宿泊先 1日目は鈍川温泉「鈍川温泉ホテル」に泊まります。鈍川温泉は、愛媛県今治市玉川町にある温泉です。5軒の旅館が点在す

です。古くから、こんぴらさんの門前で栄えてきた心あたたまる香川県琴平町にある旅館です。館内の大浴場では露天風呂やアンデス岩塩湯、バラ風呂、薬草湯、サウナなどなどユニークなお湯が楽しめます。

※初めて参加される方は、できる限り白目の服装で、輪袈裟と数珠をお持ちになり、巡拝用具(金剛杖、数珠、輪袈裟)や納経物(軸、帳面、白衣など)などは巡拝先で必要なものを購入されれば良いと思います。お申し込みの際にご相談ください。

です。

◆旅程(全行程貸切観光バス利用)

11/21 (月)	但東町—須知— 大本山妙心寺 (団体諷経、諸堂拝観:法堂・開山堂・玉鳳院など)—	6:15発 8:15~8:30 9:20 ~ 12:30
	— 祇園『花郷』 (点心懐石)— 大本山東福寺 (紅葉名所:通天橋・開山堂拝観)—	13:00 ~ 14:30 15:00 ~ 16:30 ※例年11月中旬~下旬に紅葉見頃
	— やまがた屋 (買物)—各地区	18:00~18:30 19:45頃~

※旅程は道路事情により多少変更が生じる場合があります。ご了承下さい。

大本山妙心寺へお参りしましょう

11月21日(月) 日帰り 東福寺の紅葉も愛でます

今年は大本山妙心寺への団体参拝を行います。

開山堂をはじめ諸堂の拝観、微妙殿での法要に参加、先祖供養を受けていただきます。昼食は、祇園の「花郷」で優雅なひとときを過ごしていただきます。午後からは、臨濟宗東福寺派の本山・東福寺にお参りいたします。



▲東福寺の紅葉

なかでも仏殿から開山堂に至るあいだの溪谷に架けられた細長い橋廊「通天橋」の紅葉は絶景と称されていきます。特に「通天のもみじ」と称されていている紅葉は、葉が三つに分かれて黄金色になるのが特徴といわれています。

す。これまでに大徳寺(平成11年)、相国寺(平成13年)、南禅寺(平成15年)と各本山を参拝しましたが、今回の東福寺は嘉禎2年(1236年)に創建され、京都五山の第四位の禅寺として中世、近世を通じて栄えた禅寺です。妙心寺の創建が建武4年(1337年)ですから、それよりも約百年も前に東福寺は建てられていたわけです。妙心寺の開山堂は東福寺から移築されたもので、妙心寺のなかでも最も古い建物です。東福寺は東山の山麓にあり、四季を通じて風光明媚な名勝地であり、

ぜひ、この機会に古来より天下に名をはせる東福寺の紅葉を満喫しましょう。なお、団体参拝の詳細については、別途配布しましたチラシ「大本山妙心寺参拝と紅葉の東福寺参拝の旅」をご覧ください。

【ご案内】

11月21日(月) 日帰り
旅費 1万5千円(団体諷経料含む)
参加申込みは、10月末日までに申込書に旅費を添えて松禪寺まで届けてください。



心のふるさと
四国遍路の旅を
ご一緒しませんか

11/28 (月)	豊岡市内—但東町—夜久野—(徳島)—古備SA—(山形)—東尾道SA—	5:00 5:40 6:20~6:30 8:20~8:35 10:15~10:30
	— 徳島IC — 南光坊 — 今治市 (昼食)— 泰山寺 — 栄福寺 —	11:10~12:00
11/29 (火)	— 延命寺 — 円明寺 — 太山寺 —(R317・徳島経路)— 鈍川温泉 (泊)	17:40頃
	ホテル— 仙遊寺 — 国分寺 — 善園寺 — 宝寿寺 — 吉祥寺 —	8:00発 11:30~12:20 17:00頃
11/30 (水)	— 西条市 (昼食)— 前神寺 — 横峰寺 (マイクピア)— 本山寺 — 琴平温泉 (泊)	8:30発 11:30~12:20 17:00頃
	ホテル— 三角寺 — 雲辺寺 (ロープウェイ)— 大興寺 — 三豊市 (昼食)—	8:30発 15:10 ~ 16:30 17:00~17:20
— 神惠院 — 観音寺 — 弥谷寺 (540段・階段)— 与島SA (買物)—		18:30~19:00 20:15~20:20 21:00頃 21:40頃

※旅程は道路事情により多少変更が生じる場合があります。ご了承下さいませ。

第5回四国霊場巡拝の日程

東日本大震災に被災された妙心寺派寺院・花園会員さんへの

見舞金にご協力をお願いします

このたびの東日本大震災に際しまして、今春には各家より500円の募金をお願いしましたが、これは

山陰東教区を通じて本山に届けられましたが、今回は大本山妙心寺より被災された妙心寺派の寺院、花園会員(妙心寺派寺院の檀信徒)の皆様に見舞金を送ることになりました。



▲被災された寺院内部=宮城県・慈恩院様

された花園会員の皆様に見舞金をお渡しするものです。すでにいろいろな縁から、何度も義援金を募金されてきたことと思いますが、花園会員互助の「おかげさま」の精神をおくみ取りいただき、ご協力いただきます。

現在までの被災状況調査によると、妙心寺派寺院の全壊は4ヶ寺、半壊3ヶ寺をはじめ約2百ヶ寺が被災され、花園会員の死亡・行方不明の方は約1千名に達し、全壊家屋は3千戸、半壊あるいは部分壊は7千戸にも及んでいます。

この未曾有の災害に対し、妙心寺派花園会員互助の精神をもって、松禪寺檀信徒一世帯当たり2千円以上の協力をお願いするもので、総額6億円を目前に、被災

通常会費(後期分)納入

よろしくお願いいたします

9月は、松禪寺護持会の通常会費(後期分)をお願いしています。各評議員さんより納入の依頼があると思いますので、何卒よろしくご協力ください。なお、これら護持会の収支決算及び予算につきましては、本年2月末に配布しました資料をご覧ください。

きますようお願い申し上げます。

平成26年3月末日までに本山へ届けるようになっていますが、総代会で協議の結果、年内に集めさせていただくことになりました。松禪寺護持会通常会費(後期分)と共に、評議員さんにお渡し下さい。何卒、よろしくお願い申し上げます。

特別布教のご案内 11月8日に松禪寺にて

妙心寺派山陰東教区第二部宗務支所では、次のとおり秋季特別布教を開催します。今回は順番により松禪寺が会場になりますので、松禪寺の檀信徒皆さんにはより多くのご出席をお願いしたいと思います。お誘い合わせの上ぜひご出席ください。

【秋季特別布教】

日時 11月8日(火) 14時開教

場所 松禪寺

テーマ 『目覚める』く人間の尊

さにめざめ、自分の生活も他人の生活も大切にしましょう

布教師 微笑義教師(長崎県・寶昌寺ご住職)

達磨忌にお参りください

11月3日 午前11時

来る11月3日(水)、松禪寺では達磨忌と開山忌を営みます。達磨大師は、禅宗の開祖です。

南インドの小国の王子として生まれ、後に出家して菩提達磨と名を改めます。禅を伝えるために中国に渡り、洛陽の少林寺で面壁して坐禅すること9年に及んだと言われています。

また、松禪寺は来翁祖諱和尚大禅師を開基として、禅師の師である一笑禅慶和尚大禅師を勧請開山としています。10月20日を忌日としております。

この達磨忌と開山忌を次のとおり執り行いますので、ぜひお参りください。

とき 11月3日(木)

午前11時より法要

正午齋座(けんちん汁)

場所 松禪寺本堂

※恐れ入りますが、炊事当番さんは午前8時30分にご来山ください。